

今月の1枚（2018年9月）

消火器取扱訓練（地元自治会防災訓練）

写真撮影、文とも 宮崎隆介（JRMN 会員）



毎年9月1日は、関東大震災を教訓とする「防災の日」とされている。地元自治会ではその直近の日曜日（今年2018年は9月2日）に公民館に集まり、地元消防団も参加して講話を聴き、そのあと機器の取り扱い訓練を行っている。今年は久しぶりに消火器訓練を行った。大人も子供も実際に体験することが大事である。的（炎）を直接狙うのではなく、炎の手前から掃くようにして火を鎮めるのが肝要である。年によってはすぐ近くにある市の消防局（署）見学をしたり、路上にある消火栓の開栓訓練を行ったりもする。消火器は各家庭にも台所に1台は必需の品である。有効期限をしっかりと確かめたい。